



藤岡南中
学校だより

桜援団

令和7年1月22日

第790号

文責 教頭 釜屋雄一

保護者アンケート+学校自己評価の結果と分析

1 1月に実施いただいた「保護者アンケート」につきまして、ご協力いただき誠にありがとうございました。自由記述ご意見への回答については、1 1月29日付け「桜援団NO.787」で報告をさせていただいております。回答数値の集計結果については、1月に実施した教職員による「学校自己評価」の結果とともに、本文書にて報告させていただきます。次ページ以降の表が集計と分析の結果です。下記の内容とともにご確認ください。

保護者の取り組みについて

保護者の取り組みについては「1 学校から出された文書を読んでいる」「2 学校行事へ参加している」とともに、大変高い評価を維持しています。また、「3 お子さんと学校のことを話している」についても昨年度と比べて3.5ポイント上昇しており、保護者の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。「PTA活動やボランティア活動への参加」については、ポイントが低いものの、昨年度と比べて15.3ポイントも数値が上昇しています。昨年度、PTA役員の皆様のご尽力をいただき、役員数を減らしたり、活動を見直したりと、組織の見直しをしました。その結果、保護者の皆様の負担を大きく減らすことができました。また、新たな取り組みとして、入学式の受付ボランティアや蔵書点検ボランティア、学校保健委員会への参加などPTAで呼びかけをしたところ、それぞれの活動にたくさんの方が関わってくださいました。今後も、PTAのイメージアップを求めて無理なく組織を運営していけるよう、PTA役員の皆様とともに検討していきます。

学校の取り組みについて

保護者アンケートで高評価を維持している項目は「8 家庭連携」「13 学習指導：個別懇談」でした。「8」については教職員の評価も高く、保護者の皆様と教職員の共通理解・協力体制は高いレベルにあるととらえています。

保護者アンケートで特に向上した項目は「18 生徒指導：問題行動予防と早期発見・早期対応」「38 部活動」でした。教職員の評価はそれほど変化していませんが、いじめアンケートや薬物乱用防止教室の実施等、加えて、熱中症予防対策について評価されつつあることがうかがえます。

保護者アンケートで努力を要する項目は「11 学習指導：わかりやすい授業」「20 図書館」でした。「11」「20」とともに、教職員評価でも努力を要する結果となっています。授業の質を高めるための教員研修は継続実施をしていますが、今回の結果を真摯に受け止め、引き続き向上を求めて研修を重ねていきます。学校図書館の利用については、読書強調の取り組みを設定するなどして昨年度よりも貸し出し冊数を増加させているところですが、さらに読書活動に親しめるような方策を考え、実行していきたいと思えます。

保護者アンケートで「わからない」という回答が多く、このことが各項目の点数を下げる大きな要因となっています。ホームページやきずなネットでの情報発信に力を入れてきたつもりですが、保護者の皆様に学校の実情を伝えきれていないことを実感します。情報発信の内容について、改めて保護者の皆様にご理解いただけるよう、しっかり検討しながらお伝えしていきたいと考えています。

令和6年度 保護者アンケート 集計結果

令和6年1月22日 教頭

数値の単位 (%)			保護者の取組への回答	とてもよくしている	している	あまりしていない	していない	****
			学校の取組への回答	とてもよい	よい	あまりよくない	よくない	わからない
番号	項目		4	3	2	1	0	
1	保護者の取組	学校から出される文書を読んでいますか。	18.2	62.6	16.4	2.8	****	
2		参観日などの学校行事へ参加していますか。	34.6	52.8	9.3	3.3	****	
3		お子さんと学校のことを話していますか。	29.9	52.3	16.8	0.9	****	
4		P T A 活動や学校のボランティア活動などに参加していますか。	5.1	33.2	24.8	36.9	****	
5	教育目標	学校の教育目標や教育方針について、学校はP T A 総会や学校だよりなどでわかりやすく伝えているか。	11.7	57.0	8.9	1.4	21.0	
6	学校特色	特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動をおこなっているか。	19.2	60.7	9.3	1.4	9.3	
7	施設管理	校舎内外の施設・設備の管理をしっかりとこなしているか。	16.8	47.7	7.0	0.5	28.0	
8	家庭連携	保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを進めているか。	21.0	62.6	7.5	0.0	8.9	
9	学習指導	学年の学習目標や学習内容を知らせているか。	17.8	60.7	12.1	1.9	7.5	
10	学習指導	子どもが意欲的に授業に取り組むように工夫しているか。	15.0	59.8	11.2	0.9	13.1	
11	学習指導	一人一人に応じたわかりやすい授業をしているか。	6.1	43.5	21.0	3.7	25.7	
12	学習指導	基礎学力を身につける工夫をしているか。	8.4	53.7	18.2	2.8	16.8	
13	学習指導	個別懇談等で子どもの学習状況を的確に説明しているか。	27.1	57.9	8.9	3.3	2.8	
14	道徳教育	豊かな人間性や心を育てる道徳の指導をしているか。	15.9	58.4	8.4	1.4	15.9	
15	教育相談	子どもとのふれあいを大切に、教育相談等で児童生徒理解に努めているか。	16.8	57.0	7.5	3.3	15.4	
16	特別活動	学級活動、児童生徒会活動、学校行事で、子どもが生き生きと活動できるよう工夫しているか。	23.4	56.5	7.0	0.9	12.1	
17	生徒指導	基本的な生活習慣や規範意識の向上をはかるように指導しているか。	12.6	57.0	9.3	0.9	20.1	
18	生徒指導	問題行動の予防と早期発見、早期対応に努めているか。	12.1	58.4	8.4	4.2	16.8	
19	健康指導	子どもが心身ともに健康な生活が送れるように指導しているか。	15.4	63.1	7.9	1.9	11.7	
20	図書館	読書環境を整え読書に親しむ活動を進めているか。	10.3	48.1	19.2	2.8	19.6	
21	情報指導	コンピュータの活用能力を高めるとともに、デジタル・シティズンシップの向上を図っているか。	13.1	56.5	12.6	1.4	16.4	
22	安全教育	子どもの安全を守る活動を積極的に進めているか。	24.3	61.7	5.6	0.5	7.9	
38	健全育成	子どもの健全育成及びスポーツ障害の予防につながる部活動を推進しているか。	24.3	55.1	4.2	2.8	13.6	

↑ 4と3の合計ポイントで次ページの比較分析をします

令和6年度 保護者アンケート 結果と分析

比較分析の記号の意味 →

★ = 80%以上の高評価を維持

○ = 向上している

▲ = 努力を要する 60%以下

数値の単位(%)

↓「とてもよい(4)」「よい(3)」の合計ポイントで比較分析しています

番号	項目	比較分析	昨年との比較	R6 4+3	R5 4+3
1	保護者の取組 学校から出される文書を読んでいますか。	★	-4.1	80.8	85.0
2	保護者の取組 参観日などの学校行事へ参加していますか。	★	-2.9	87.4	90.3
3	保護者の取組 お子さんと学校のことを話していますか。		3.5	82.2	78.8
4	保護者の取組 PTA活動や学校のボランティア活動などに参加していますか。	▲	15.3	38.3	23.0
5	教育目標 学校の教育目標や教育方針について、学校はPTA総会や学校だよりなどでわかりやすく伝えているか。		-0.3	68.7	69.0
6	学校特色 特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色のある教育活動をおこなっているか。		5.6	79.9	74.3
7	施設管理 校舎内外の施設・設備の管理をしっかりとこなしているか。		-10.7	64.5	75.2
8	家庭連携 保護者との連携を図り、開かれた学校づくりを進めているか。	★	-1.3	83.6	85.0
9	学習指導 学年の学習目標や学習内容を知らせているか。	○	7.7	78.5	70.8
10	学習指導 子どもが意欲的に授業に取り組むように工夫しているか。		5.7	74.8	69.0
11	学習指導 一人一人に応じたわかりやすい授業をしているか。	▲	1.7	49.5	47.8
12	学習指導 基礎学力を身につける工夫をしているか。		-0.7	62.1	62.8
13	学習指導 個別懇談等で子どもの学習状況を的確に説明しているか。	★	-1.7	85.0	86.7
14	道徳教育 豊かな人間性や心を育てる道徳の指導をしているか。		-7.1	74.3	81.4
15	教育相談 子どもとのふれあいを大切に、教育相談等で児童生徒理解に努めているか。		2.2	73.8	71.7
16	特別活動 学級活動、児童生徒会活動、学校行事で、子どもが生き生きと活動できるよう工夫しているか。		-9.5	79.9	89.4
17	生徒指導 基本的な生活習慣や規範意識の向上をはかるように指導しているか。		-7.4	69.6	77.0
18	生徒指導 問題行動の予防と早期発見、早期対応に努めているか。	○	12.2	70.6	58.4
19	健康指導 子どもが心身ともに健康な生活が送れるように指導しているか。		4.2	78.5	74.3
20	図書館 読書環境を整え読書に親しむ活動を進めているか。	▲	10.6	58.4	47.8
21	情報指導 コンピュータの活用能力を高めるとともに、デジタル・シティズンシップの向上を図っているか。		4.1	69.6	65.5
22	安全教育 子どもの安全を守る活動を積極的に進めているか。	○	7.2	86.0	78.8
38	健全育成 子どもの健全育成及びスポーツ障害の予防につながる部活動を推進しているか。	○	14.0	79.4	65.5

↑↑ 4と3の合計ポイントで比較分析しています ↑

令和6年度 学校自己評価 結果と分析

令和7年1月22日 教頭

番号は「保護者アンケート」に対応している（5～22、38）

評価の得点 → 4 = とてもよい 3 = まあまあよい 2 = あまりよくない 1 = よくない

比較分析の記号の意味 → ★ = 3.5以上の高評価を維持 ○ = 向上している ▲ = 努力を要する

番号	項目	評価内容	比較分析	R6 評価 平均	R5 評価 平均
5	学校教育目標	地域の特色や学校の実態に即した学校教育目標を設定し、児童生徒・保護者・地域の理解を得ている。	○	3.5	3.3
6	特色ある学校づくり	特色ある学校づくり推進事業が児童生徒の教育活動に効果的であるとともに、事業の計画や成果が広く理解されている。	★	3.5	3.5
7	施設管理	施設・設備の点検・管理を日常的に行い、その機能を十分に生かして教育活動に活用している。	★	3.6	3.5
8	家庭・地域連携	保護者・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを進めている。	★	3.5	3.5
9	学習指導	学年の学習目標や学習内容を知らせている。		3.3	3.5
10	学習指導	体験的な活動や問題解決的な学習を取り入れた授業を展開し、児童生徒の学習を充実させている。		3.3	3.5
11	学習指導	個別指導、グループ指導やＴＴ・少人数指導等の工夫を積極的に行い、個を生かす学習指導を充実させている。	▲	3.0	3.0
12	学習指導	指導方法や教材の工夫等により基礎基本の定着度を向上させている。		3.2	3.0
13	学習指導	子どもの学習状況について、懇談会等で的確に説明している。		3.3	3.4
14	道徳教育	学校教育活動全体を通じて、体験活動やボランティア活動を取り入れ、心の教育を充実させている。		3.5	3.4
15	教育相談	児童生徒との日常のふれあいを大切にするとともに、教育相談を計画的に実施し、児童生徒理解に努めている。		3.3	3.5
16	特別活動	学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事等を活用し、児童生徒の自発的・自治的な活動の充実に努め、成就感、感動を味わわせている。	○	3.4	3.1
17	生徒指導	基本的生活習慣の定着や規範意識の向上のために、具体的な方策を講じている。	▲	3.0	3.2
18	生徒指導	いじめ、不登校、触法行為などの予防と早期発見、早期対応に努めて、職員の共通理解のもと組織的に対応している。		3.3	3.5
19	健康教育	心身の健康に留意し、主体的に健康づくりや体力づくりができる態度を身につけさせる指導を充実させている。		3.2	3.4
20	学校図書館教育	図書館の整備に努めるとともに、学校図書館司書との連携を図り、豊かな心を育む読書活動を進めている。	▲	3.0	2.8

番号は「保護者アンケート」に対応している（５～２２、３８）

評価の得点 → ４＝とてもよい ３＝まあまあよい ２＝あまりよくない １＝よくない

比較分析の記号の意味 → ★＝３.５以上の高評価を維持 ○＝向上している ▲＝努力を要する

番号	項目	評価内容	比較分析	R 6 評価 平均	R 5 評価 平均
21	情報教育	情報活用能力を高めるとともに、デジタル・シティズンシップの向上を図っている。		3.2	3.4
22	安全教育	自らの安全を守るための正しい知識と行動に関する指導を計画的に行い、意識の高揚を図っている。		3.3	3.4
23	教育課程	学習指導要領をふまえ、各学校の指導計画に基づいて、適切に実施している。		3.3	3.3
24	家庭・地域連携	地域・保護者ボランティア等を継続的に活用し、地域活性化に視点を置いた地域ぐるみの教育活動の展開に努めている。		3.3	3.5
25	家庭・地域連携	保護者や地域・近隣の園や学校、関係機関と連携した危機管理マニュアルを作成し、運用するよう努めている。		3.4	3.5
26	学校経営	教育活動推進のために、教職員の共通理解が図られ、学校が組織として機能している。		3.2	3.5
27	学校評価	学校評価の結果を教育活動の改善・充実に活用している。		3.2	3.3
28	園・小・中連携	こども園と小学校、小学校と中学校、のように近隣の園小中との指導の連携に努めている。	○	3.5	3.3
29	特別支援教育	特別な支援を要する児童生徒の状況を把握し、保護者・関係機関との連携を踏まえた個別の支援計画を立て、全校体制で支援している。		3.3	3.5
30	健康教育	健康な身体づくりに必要な食生活の充実に関する指導を、計画的に行っている。	▲	3.0	3.2
31	国際理解教育	学習や行事等を通して共生の心を育てるとともに、小学校においては、小学校外国語活動を充実させている。	▲	3.0	3.2
32	環境教育	主体的に環境保全に取り組む態度の育成に努めている。	▲	2.9	3.1
33	キャリア教育	望ましい勤労観、職業観がもてるよう、各学年に応じた系統的な指導を行っている。		3.4	3.3
34	教員育成	学校全体で、テーマを明確にし、組織的・計画的・継続的に現職教育研修が進められている。		3.3	3.6
35	教員育成	非違行為撲滅のため、計画的、継続的に職員が意識できるような取組が行われている。	★	3.5	3.7
36	教員育成	新たな学びのスタイルの推進のため、学校全体でＩＣＴ活用能力の向上に努めている。		3.5	3.4
37	多忙化解消	学校全体で、多忙化解消に向けた取組を推進している。		3.1	3.2
38	健全育成	子どもの心身の健全育成及びスポーツ障害の予防につながる部活動を推進している。		3.4	3.5

学校自己評価の評価項目と評価の着眼点

番号		評価項目	評価の着眼点
5	学校教育目標	地域の特色や学校の実態に即した学校教育目標を設定し、児童生徒・保護者・地域の理解を得ている。	校訓「ともに生きる」目指す生徒像「広い視野をもち、よき地球市民として主体的に行動できる生徒」の周知 校長だより、学校だより、ホームページ、きずなネットを活用した広報 学校運営協議会、民生委員との情報交換会、コミュニティ会議等での広報
6	特色ある学校づくり	特色ある学校づくり推進事業が児童生徒の教育活動に効果的であるとともに、事業の計画や成果が広く理解されている。	学習指導及びSDGsへの積極的な取組、生徒の成長 地域と共働した学びの機会の設定 保護者評価、学校運営協議会による評価 ホームページにおける保護者・地域への広報
7	施設管理	施設・設備の点検・管理を日常的に行い、その機能を十分に生かして教育活動に活用している。	安全点検（毎月）の実施状況 施設や設備の破損や劣化に対する修繕等の対応 備品台帳を基にした点検と管理 屋内や屋外にある備品等の整理整頓
8	家庭・地域連携	保護者・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを進めている。	ホームページ、きずなネット、校長だより、学校だよりを活用した取組や成果の情報発信 地域学校共働本部・地域ボランティアの支援活動 学校行事と地域行事の連携
9	学習指導	学年の学習目標や学習内容を知らせている。	学年・学級通信による広報 ホームページやきずなネットを活用した情報発信 個別懇談会での情報伝達 学習用タブレットの効果的活用
10	学習指導	体験的な活動や問題解決的な学習を取り入れた授業を展開し、児童生徒の学習を充実させている。	地域講師を招聘する体験型の授業づくり 生徒にとって必要感のある校外学習の設定 学習用タブレット等のICT機器の積極的な活用 防災・地域貢献に直結する体験的な学びの場の設定
11	学習指導	個別指導、グループ指導やTT・少人数指導等の工夫を積極的に行い、個を生かす学習指導を充実させている。	生徒の考えを生かした授業展開 学習用タブレットを活用した個別支援の実施 デジタルドリル教材「Qubena」を活用した個に応じた学びの実施 授業の自己評価シートへの朱書きによる個別支援の実施
12	学習指導	指導方法や教材の工夫等により基礎基本の定着度を向上させている。	学習用タブレット等、ICT機器の積極的な活用 授業場面や学習課題におけるデジタルドリル教材「Qubena」の効果的な活用 基礎基本の定着を図るドリルコンテストの実施
13	学習指導	子どもの学習状況について、懇談会等で的確に説明している。	「私のあゆみ」（定期テストの結果）を使った説明 学校生活に見られる様子や特性についての具体的な説明
14	道德教育	学校教育活動全体を通じて、体験活動やボランティア活動を取り入れ、心の教育を充実させている。	生徒会、委員会による主体的なボランティア活動の設定 学校行事・学年行事に関連付けたボランティアの実施 学年の実態に見合った地域貢献・体験活動の設定
15	教育相談	児童生徒との日常のふれあいを大切にするとともに、教育相談を計画的に実施し、児童生徒理解に努めている。	教育相談の実施（年間4回） サクラ（生活）ノート等による把握と朱書きによる支援 生徒への声かけ、生徒と過ごす時間の確保 学習用タブレットによる生活のアンケートの実施（毎月）

16	特別活動	学級活動、児童会・生徒会活動、学校行事等を活用し、児童生徒の自発的・自治的な活動の充実に努め、成就感、感動を味わわせている。	生徒の主体性を活かした委員会活動の設定 生徒会主導によるボランティア活動
17	生徒指導	基本的生活習慣の定着や規範意識の向上のために、具体的な方策を講じている。	あいさつ運動、清掃強調週間等の設定 登下校の交通マナー等指導 授業における「藤岡南スタンダード」の徹底
18	生徒指導	いじめ、不登校、触法行為などの予防と早期発見、早期対応に努めて、職員の共通理解のもと組織的に対応している。	いじめアンケートの実施（年10回） 日常生活の中での対話を重視した寄り添う指導 悩みを抱えた生徒への対応 対策委員会を臨時開催する等の即時対応 薬物乱用防止教室（6月）の実施
19	健康教育	心身の健康に留意し、主体的に健康づくりや体力づくりができる態度を身につけさせる指導を充実させている。	感染症予防・熱中症予防の情宣活動 健康に関する意識の向上を図るための学校保健委員会の実施 食に関する指導（1年生）の実施 保健体育科（保健分野）での健康・体力づくりについての学習
20	学校図書館教育	図書館の整備に努めるとともに、学校図書館司書との連携を図り、豊かな心を育む読書活動を進めている。	学校図書館司書と連携した図書館整備 図書館の学習センター機能を活かした調べ学習の実施 読書の奨励 PTAと連携した学校図書館司書との蔵書点検
21	情報教育	情報活用能力を高めるとともに、デジタル・シティズンシップの向上を図っている。	学習用タブレット等のICT機器の日常的活用 情報モラル教室の実施（4月） デジタル・シティズンシップに関する啓発
22	安全教育	自らの安全を守るための正しい知識と行動に関する指導を計画的に行い、意識の高揚を図っている。	土砂災害対応下校訓練 防災意識をもって臨む避難訓練、防災フェスタの実施 日常の交通安全指導 自転車講習会（1年：4月）
23	教育課程	学習指導要領をふまえ、各学校の指導計画に基づいて、適切に実施している。	学習指導要領に沿った指導内容・指導計画の作成 アクティブ・ラーニングを意識した授業づくり 3観点を踏まえた授業づくりと評価の実施 リフレクションシートを活用し見通しをもたせた授業の実施
24	家庭・地域連携	地域・保護者ボランティア等を継続的に活用し、地域活性化に視点を置いた地域ぐるみの教育活動の展開に努めている。	PTAボランティア活動の設定 地域学校共働本部による地域ボランティアの活用 コミュニティ・スクール連絡会議や学校運営協議会、コミュニティにおける会議での地域との意見交流
25	家庭・地域連携	保護者や地域・近隣の園や学校、関係機関と連携した危機管理マニュアルを作成し、運用するよう努めている。	危機管理マニュアルの作成と運用 熱中症対策マニュアルの作成と運用 地域部活動 保健安全マニュアルの作成 地域部活動指導者対象救急救命講習：3月 消防署と連携した取組（2年保健体育出前授業：熱中症対策）（教員対象救急救命講習：3月）
26	学校経営	教育活動推進のために、教職員の共通理解が図られ、学校が組織として機能している。	職員会議等による教職員の共通理解と協力体制の構築 教職員の報告・連絡・相談・確認の徹底
27	学校評価	学校評価の結果を教育活動の改善・充実に活用している。	評価の公表、分かりやすい評価の着眼点への見直し 昨年度の学校評価をもとにした教育活動の見直し 評価結果を認識する場・改善する場の設定

28	園・小・中連携	こども園と小学校、小学校と中学校、のように近隣の園小中との指導の連携に努めている。	各学年のふじなん相談会の設定 アクティブ・ラーニング週間の教員相互授業参観 学校運営協議会における小学校との連携 行事検討会の実施（１月） 小中一貫部会の実施（２～３月） ９年間を見通した学び、統一した学習規律の設定
29	特別支援教育	特別な支援を要する児童生徒の状況を把握し、保護者・関係機関との連携を踏まえた個別の支援計画を立て、全校体制で支援している。	生徒理解と記録の累積 個別の支援計画の作成 保護者との連携、小学校との交流活動の状況 特別支援コーディネーターを中心とした全職員による組織的対応
30	健康教育	健康な身体づくりに必要な食生活の充実に関する指導を、計画的に行っている。	食に関する指導（１年生）の実施 食事マナーの指導 栄養バランスのとれた食生活の指導（保健体育科・家庭科） 食物アレルギー検討会議の実施（給食献立のアレルギー確認）
31	国際理解教育	学習や行事等を通して共生の心を育てるとともに、小学校においては、小学校外国語教育を充実させている。	英語科の授業を通した国際理解の育成 A L T と連携した英語でのコミュニケーション能力の育成 総合的な学習の時間や特別活動等での活動
32	環境教育	主体的に環境保全に取り組む態度の育成に努めている。	アサギマダラ飛来のためのフジバカマ園の整備 環境委員による学校環境整備活動 総合的な学習の時間における環境問題学習（１年）
33	キャリア教育	望ましい勤労観、職業観がもてるよう、各学年に応じた系統的な指導を行っている。	職場体験学習（２年）に対する取組 きめ細やかな進路指導 ３年間を通した各学年に応じたキャリア教育の実施 進路指導委員会の実施
34	教員育成	学校全体で、テーマを明確にし、組織的・計画的・継続的に現職教育研修が進められている。	アクティブ・ラーニング週間における授業研究（実践・参観） 授業研究会の実施 各ＯＪＴ研修の実施 部会ごとで検討を重ねる「次年度への提言」の作成
35	教員育成	非違行為撲滅のため、計画的、継続的に職員が意識できるような取組が行われている。	非違行為撲滅に向けた定期的な研修および事例を用いた不祥事防止意識向上を図る取組 チェックリストによる自己点検の実施
36	教員育成	新たな学びのスタイルの推進のため、学校全体でＩＣＴ活用指導力の向上に努めている。	リモート授業やオンライン集会の積極的な実施 教職員のＩＣＴ活用能力（学習用タブレット等の授業活用）向上のための現職教育 学習用タブレット活用における積極的な情報共有
37	多忙化解消	学校全体で、多忙化解消に向けた取組を推進している。	A I 採点システムの積極的な活用 会議の効率化、会議資料等の電子化、会議内容のスリム化 日課や下校時刻の見直し、会議時間の確保 生徒や保護者に配る文書のデータ化 デジタルドリル教材の活用 在校時間の把握確認
38	健全育成（中学校のみ）	子どもの心身の健全育成及びスポーツ障害の予防につながる部活動を推進している。（中学校のみ回答）	熱中症やけが等の防止のための対策について、教職員の共通理解と対策を徹底